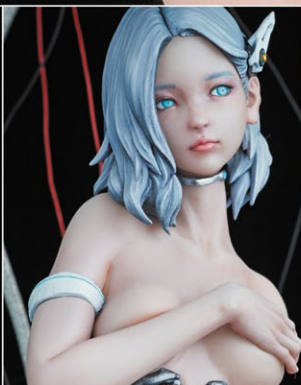
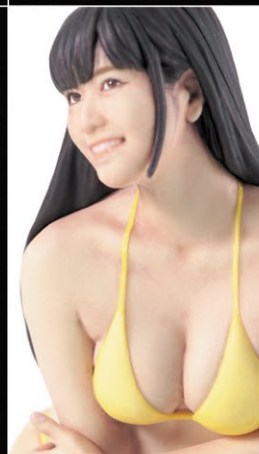


# フィギュア メイクアップ マニキュア

自分好みの「カワイイ」を手に入れたいあなたへ送る、最高のペイント教本





# CONTENTS

- 004 mamoru式ペイントを学ぶ
- 008 メイクアップフィギュア\_1 低カロリー編  
扱いやすいプラスチック製フィギュアを少ない手数で
- 012 メイクアップフィギュア\_2 中カロリー編  
レジン製フィギュアを最小限の工数で塗る
- 016 メイクアップフィギュア\_3 高カロリー編  
改造と塗りで見せる
- 022 メイクアップフィギュア\_4 実在した人物編  
透明感のある肌と金髪表現
- 024 メイクアップフィギュア\_5 1/35スケール編  
ミニスケールでの美人表現
- 026 メイクアップフィギュア\_6 キャラクター編  
三次元と二次元の上手な融合
- 030 メイクアップフィギュア\_7 実在する人物編  
Part1 実在の人物に似せるコツ 近藤みやびフィギュアの場合
- 033 もっと教えてmamoruさんのこと!
- 034 メイクアップフィギュア\_8 実在する人物編  
Part2 実在の人物に似せるコツ 東雲うみフィギュアの場合
- 038 メイクアップフィギュア\_9 実在する人物編  
Part3 実在の人物に似せるコツ 鈴木咲フィギュアの場合
- 040 FILE.01 HB01
- 046 FILE.02 舷窓の向こうに
- 052 FILE.03 ギャル子
- 054 FILE.04 キツネツキ
- 061 FILE.05 Call me
- 066 FILE.06 Dolllel
- 073 FILE.07 山本八重さんを主題にお借りしたフィギュア
- 074 FILE.08 FKEY Best
- 078 FILE.09 CLONES
- 083 FILE.10 Rabbit Flova
- 086 FILE.11 APHRODITE 2
- 092 FILE.12 天使もえ
- 095 Afterword from Moe Amatsuka
- 096 奥付

## 実際の塗装手順

フィギュア製作の手順はひとそれぞれ千差万別、正しい方程式のようなものは存在しないだろう。そこで、ここではmamoruの通常のフィギュア製作手順を紹介する。自身の手順と比較するもよし、初めてのフィギュア製作をこの手順通りトレースするもよし。ぜひ参考にしてもらいたい。

## STEP.01

### 一次洗浄

まずキットのパーツ数に不足がないかをチェックする。そのあと洗面器にぬるま湯と鬼剥離の粉を適量溶かし20分程浸け置きする。浸け置き後にブラシ類でゴシゴシ磨く。磨いたあとは水道水で再度軽く洗う。

## STEP.02

### 二次洗浄

引き続き二次洗浄を行なう。超音波洗浄機に水道水と中性洗剤(数滴)を入れて5分程度洗浄する。洗浄が完了したあと、水を入れ替えて水道水のみでさらに5分程度洗浄する。

## STEP.03

### バリ取りと成形

大きなバリはニッパーで除去。スポンジヤスリ等で手磨きする。メインで使用するのは#240。その後400、600と磨いてかたちを整える。大きな段差や気泡などは瞬間接着剤シアノンDWで埋めていく。

## STEP.04

### 軸打ちと仮組み

各接合部のダボを開口し、真ちゅう線を打ち込みパーツ同士を接続し仮組みを行なう。このときパーツ同士の位置が合わなかったりすき間が空く場合は、接合部を削ったりパテを使用して処理しておく。

## STEP.05

### 三次洗浄

軸打ちや仮組みの際に行なった切削工程で付着した削りカスや手の油分などを洗浄する。ここでも中性洗剤を使用し、歯ブラシでパーツを洗っていく。このあとはしっかりと乾燥させる。

## STEP.06

### プライマー塗装

パーツの乾燥を確認したら、フィニッシャーズのマルチプライマーをエアブラシで全体に塗布する。ベタベタと厚く塗るのではなく、うすく均一に塗布していく。中間乾燥後に2度目を塗布する。

## STEP.07

### サーフェイサー塗装

サーフェイサーの色はあとの塗装工程に大きく影響を及ぼすので、仕上げたい肌の色に合わせて選ぶ。サーフェイサー自体を混色する場合もある。※サフレス塗装時はこの工程は行わない。

## STEP.08

### 肌のエアブラシ塗装

塗膜が厚く、そして均一にならないように気をつけながら吹き付けていく。塗装ムラは敬遠されがちだが、その効果を上手く使えば肌の質感表現に有効なので色々試してみるとよい。

## STEP.09

### 衣服のエアブラシ塗装

衣服は目指す仕上げによっては均一に塗装する場合もある。エアブラシを吹き付ける角度を変えることで、陰影を出すのも面白い。

## STEP.10

### 髪のエアブラシ塗装

髪の毛はベタ塗りすると重々しくベタベタした印象になってしまうので、複数色を使って数回にわけて塗るとよい。※フィギュアのスケールによっては筆で塗装の場合もある。

## STEP.11

### 細部の筆塗装

細部はじっくりと時間をかけて筆塗りする(手順や方法は4ページを参照)。服と肌の境界やディテール、肌のこまかい陰影もこの工程で塗装していく。

## STEP.12

### つや調整、そして完成

全体のつや調整、おもにつや消しクリヤーの塗布を行ない完成。

## mamoru のこだわり

女性フィギュアをかわいく仕上げるといっても、そのどこに重心を置き注力すべきなのか。もちろん全部と言ってもしまえばそれまでだが、一歩抜きん出たかわいさの秘訣には、かならず理由があるはずだ。mamoru自身は果たしてどのようなところにこだわりを持ち仕上げているのだろうか。



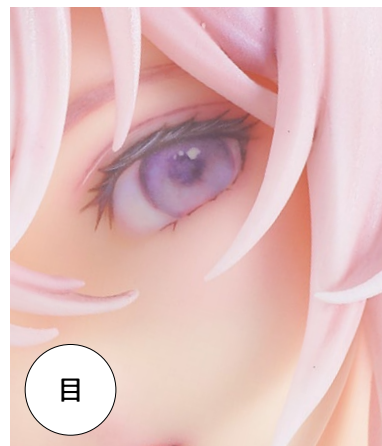
肌

基本的にリアリティや生々しさには拘らず、グラビア風の毛穴レス肌を意識した塗装を行なっている。あくまでフィギュアとして飾った時の見映えを重視。但しフィギュアのキャラクター性によってはリアリティ重視に仕上げる場合もある。



髪

髪の毛には女性の個性がもっとも表れると考えるmamoru、塗装もしなやかさやツヤ感を大切にしている。反射光は大胆に大袈裟に描き、ふんわりとした空気感を表現。陰色はとくに大切にしており、しっかり陰をつけ髪が多層感を演出している。



目

目は最重要部位だ。実際には黒に見える瞳も、ちいさなフィギュアでは意図的に明るい色で描くようにしている。反射光を意識し明度差をつけると、より魅力的な瞳になるのだ。同様にまつ毛や白目にも色数を使い表情を持たせるようにしている。

メイクアップフィギュア

3

高カロリー編

## 改造と塗りで見せる

高カロリー編では改造と本人に似せるというポイントでカロリーを上げた。minimum factory みゆきの顔を minimum factory 東雲うみの顔にすり替えて、21ページの写真の様なみちちゃんを再現した。成型色は肌色なのだが、本人に似せるために今回は全塗装で製作。何色も塗り重ねて再現した肌の透明感は1/20スケールとは思えないほどだ。

※ minimum factory 東雲うみはレジン製のサンプル品を使用。



PLAMAX MF-24  
minimum factory  
みゆき(改造)

マックスファクトリー  
1/20  
インジェクション  
プラスチックキット

## HIGH-CALORIE

1



▲ minimum factory 東雲うみの顔部分を切ったり削ったりして収まる様に調整。流石に2次元と3次元とではバランスが狂うが、収まりがよくなるように留めた。

ITEM

2



▲ グレーのサーフェイサーを全体に塗装、乾燥後に斜め上からガイアノーツのノーツフレッシュを吹く。サーフェイサーは均一ではなく濃淡を意識して吹くとよい。

ITEM



ノーツフレッシュ

3



▲ モデルカステンカラーの粘膜クリアーを全体に塗装する。このときも均一に吹くのではなく陰影を意識して濃淡を付けるように。下地が少し透けるぐらいがベスト。

ITEM

モデルカステンカラー  
粘膜クリアー

4



▲ 全体に肌色を吹く。今回のモチーフは日本人なので、ノーツフレッシュだけだとやや色白になりすぎる。そのためガイアノーツのサフレフレッシュオレンジを微量混ぜて塗装した。

ITEM

ノーツフレッシュ/  
サフレフレッシュオレンジ

5



▲ Mr. カラー ラスキウスのクリアーベールレッドと Mr. カラー GX のスーパースムースクリアー <つや消し> を混ぜたもので色味を調整。ツヤ消しなら今後のイメージが掴みやすい。

ITEM

Mr. カラー ラスキウス  
クリアーベールレッド  
Mr. カラー GX スーパー  
スムースクリアー <つや消し>

6



▲ いったん顔の塗装に移る。白目が白すぎると強調されすぎて違和感を感じるので真っ白ではなく白に近い肌色を使う。今回はノーツフレッシュホワイトを使用した。

ITEM



ノーツフレッシュ ホワイト

メイクアップフィギュア

6

キャラクター編

## 三次元と二次元の上手な融合

平面であるイラストを立体物に落とし込むには工夫が必要である。とくに目はイラストの再現性において重要で、どこから見ても違和感ない視線や瞳の大きさに細心の注意が払われている。また、フィギュアに硬い印象を与えないよう「線」が見えない塗り方にも注目だ。



イメージスケール 大学  
選抜チーム 島田愛里寿  
(山下しゅんや Ver.)

モデルカستن  
イメージスケール  
レジンキャスト製キット

# ALICE SHIMADA







FILE.01

HBO1

2023年製作  
ノンスケール  
原型師/K

美しく写実的に仕上げられた表情と、機械的で硬く冷たいボディとの対比が魅力的な作品。造形の素晴らしさを最大限に引き出した mamoruらしい仕上げだ。









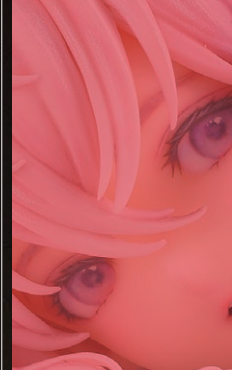
FILE.09

CLONES

2023年製作  
ノンスケール  
原型師 / klondike

衣装の素材や網タイツ、ブーツやジッパーといった、細部の質感表現の幅が非常に広い作品。衣装のシックさと髪色の鮮やかさが強いコントラストを生み、見るものの目を惹きつける。





FILE.10

Rabbit Flova

2023年製作  
1/7スケール  
原型師/ 栞山芋

水彩イラスト風のイメージで塗装。造形の持つ柔らかな印象を生かすように、淡いピンクを中心とした同系色で全体のベースカラーや花、各所の陰色まで統一感ある仕上げがされる。





# FIGURE MAKEUP MANUAL

PAINTED BY MAMORU

ISBN978-4-499-23393-4 C0076 ¥3600E

定価(本体3600円+税)



9784499233934



1920076036002